



8月



えんだより

ともしび保育園 8月1日発行

「また、行きたい」

毎日暑い日が続いていますが、暑すぎてプールに入れず現代と違い、私が小学生の時は(と言っても数十年も前ですが)気温が上がらなくてプールに入れず日が続いたのを考えると、改めて気候が大きく変化していることを感じます。

さて、7月12日、13日に年長きりん組がお泊り保育を行いました。親元を離れて保育園に1泊するのが初めての子もいたと思います。それだけでも、「すごい」「えらい」と褒めてあげたくなくなってしまいます。

今年のお泊り保育のテーマは、「冒険、探検」でした。子どもたちが日ごろ興味を持っている事や物からテーマを決めました。活動内容も、子どもたちからやってみたい事を集めて取り入れていきました。

1日目は、茨城県自然博物館に探検に行ってきた。ここでは、普段子どもたちが興味を持って知っているものを「発見」していました。リュウグウノツカイ、恐竜、ダイオウイカは渡り廊下の窓から見える中庭にいて、隠れキャラ的でしたが見事発見しました。鉱石にも興味があり、水晶やエメラルドなどを見つけたり、実際に触れる事も出来ると一段と目が輝いていました。

保育園に帰り、夕食づくりがありました。カレーは2種類、それぞれ2種類の隠し味の材料、「チョコレートとトマト」「ヨーグルトとすりリンゴ」を入れた「冒険カレー」の出来上がりです。

2日目の朝ご飯は、ホットドックのトッピングを自分で挟んで食べました。あっという間にお泊り保育が終了しました。

夜は数名寂しくなってしまう子がいるかなと思っていましたが、皆なんのその、寝る準備も楽しそうにしている、興奮してすぐ寝れないのではと思うほどでした。普段の姿から色々な姿が見られるかなと予想していましたが、お泊り保育中の子どもたちの姿を見ると、一つ一つの活動に積極的に関わり、とても楽しんでいました。途中気持ちが切れることなく過ごしていた姿を見ると、とても成長を感じられました。お泊り保育から帰る時には、自信に満ちた顔つきで、保護者のところに向かっていたのがとても印象的でした。

週明けに子どもたちに会いにいくと、真っ先に「またお泊り保育に行きたい」と皆に言われました。この言葉は子どもたちの成長を感じるのと、関わった職員はとても嬉しい言葉でした。お泊り保育の絵を描いた時も、普段あまり描きながらいない子も積極的に描いている姿を見ると、子どもの中に強烈に印象に残り、描きたいという思いがあふれ出たのだと思います。 園長 渋谷順一